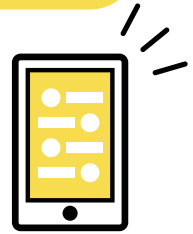


自治会町内会の魅力をもっと知ってもらおうなら

情報発信をデジタルで



はじめよう!

これなら私にも
できそう!

いろんな人に
知ってもら
うチャンスだね

自治会の活動に
参加してみよう
かしら♪



自 治会町内会が使いやすい情報発信のデジタルツール6種類と、実際に取り組んでいる神奈川区内の事例を紹介します。いつでも、どこからでも情報を得られる便利なデジタルツールを活用すると、幅広い世代の人に自治会町内会の魅力を知ってもらえるチャンスかもしれません。できることから始めてみませんか？

ライン LINE (公式アカウント)

無料
で使用可能



※イメージ

LINEってどんなもの？

自治会町内会や地域活動団体などが、登録している人へ情報を積極的に伝えることができる。
どの年代でも普及率が高く、登録してもらいやすい。

こんな使い方ができます！

- 手軽にメッセージ配信ができる。
- 自治会町内会の回覧板・行事予定などを配信できる。
- 写真や動画を使って配信できる。
- 登録者から自治会町内会に非公開でメッセージのやりとりや、無料通話ができる。
- 簡単なアンケートを取ることができる。

こんな効果があります！

- 操作に慣れている人が多いため、公式アカウントに登録してもらいやすい。
- メッセージ受信の通知が届くので、見落としが少ない。
- メールに比べて気軽に問い合わせができるため、地域の声をキャッチしやすい。
- 無料で始められる。(規定数以上の配信で有料)

導入事例紹介

斎藤分南部町内会

基本情報 (令和5年7月現在)	世帯数：709世帯 班数：8班
--------------------	--------------------



- ・町内会広報紙(毎月全戸配布)に掲載された内容の問い合わせ先やイベントの情報発信に、LINEを活用。
- ・LINEで配信すると、登録した人に通知が届くので、すぐにメッセージを読んでもらいやすい。
- ・町内会ホームページや広報紙、案内チラシでLINE登録の周知をしている。

広報紙を見て、ちょっと聞きたいことを気軽に問い合わせできたという思いからLINE活用を提案しました。転入してきた方からの問い合わせもあり、効果を感じています。(高橋さん)

高橋さんからのLINE活用の話を聞いて「いいですね～。まずやってみて、ダメならやめる」ぐらいの気楽な気持ちではじめました。メールよりLINEの方が問い合わせしやすいようです。(萩谷会長)

Instagram

エックス

① Instagram ② X (旧 Twitter)

無料
で使用可能



※イメージ

① Instagram ② X ってどんなもの？

- ① 写真や動画に特化した発信ができ、若年層にも手軽にみてもらえる。特にリアルタイムな情報を発信しやすい。
- ② 短文投稿に特化したSNSで、リアルタイムで起きていることを発信するのに向いている。

こんな使い方ができます！

こんな効果があります！

- 自治会町内会のイベントの事前告知や報告ができる。
- 写真や動画を使って発信できる。
- タイムリーな情報を手軽に発信できる。
- 不特定多数の人へ発信できる。
- 簡単なアンケートを取ることができる。

- 若い世代の利用率が高く、情報の拡散や共有がされやすい。
- 発信した情報は、だれでも見ることができる。
- イベントの状況をリアルタイムで発信することで、近所の人に来てもらえる。
- 無料で始められる。
- 画像一覧で過去の投稿が見やすい。(Instagram)

導入事例紹介

西神奈川三丁目通り町内会



基本情報 (令和5年7月現在)	世帯数：210世帯 班数：11班
--------------------	---------------------

- ・ これまで町内会の情報発信は、回覧板と掲示板だけだった。
- ・ Instagramでは、町内会活動の周知、イベントの様子などを写真や動画で発信。
- ・ Instagramは無料。運用開始の案内チラシを作成し、フォロワーを増やしている。



地域づくり大学校[※]に参加し、地域で実現したいプランとして町内会のSNS発信を考えました。夏祭りにはInstagramを見て来てくれた人もいて反響を感じています。(平原さん)

町内会会員や役員の減少が続く中、何かを始めなければ何も変わらないと感じていました。SNSは詳しくなかったのですが、無料なので新たなチャレンジをしようと導入しました。(長谷川会長)

※地域づくり大学校 … 暮らしの中で " こうなったらいいな " を形にしていけるプロセスを楽しく学び、地域の新たなつながりを創り出す連続講座。

フェイスブック

Facebook

無料
で使用可能



※イメージ

Facebookってどんなもの？

他のSNS（LINEやInstagramなど）に比べて伝えられる情報が多く、スマホからでも手軽に配信できる。実名登録制のため、リアルな知り合いを中心とした情報発信ができる。



こんな使い方ができます！

- 自治会町内会の回覧板・行事予定などを配信できる。
- 写真や動画を使って配信できる。
- メッセージのやりとりができる。
- 投稿ごとに情報の公開範囲を設定できる。



こんな効果があります！

- 誰でも検索して地域の情報を見つけることができる。
- 実名登録制のため、近隣の人と繋がりやすい。
- 型が決まっているため、情報が整理しやすく、ホームページよりも手軽に始めやすい。
- 無料で始められる。

導入事例紹介

南神大寺団地自治会

基本情報
(令和5年7月現在)

世帯数：421世帯
班数：55班

詳しくはこちら



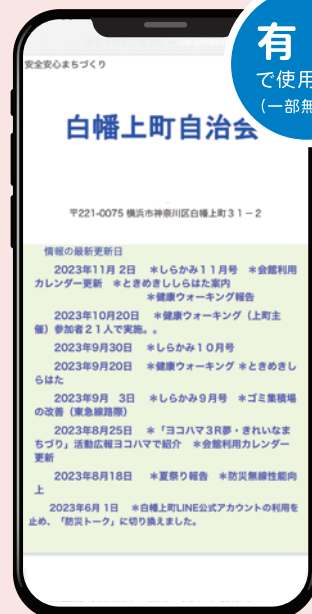
- ・これまで自治会の情報発信は、回覧板と掲示板だけだった。
- ・Facebookでは、自治会のイベント情報や活動の様子を写真や動画で配信。
- ・予算が限られている中、Facebookは無料で始められるため、導入しやすかった。さらにLINE公式アカウントでも配信している。

ホームページの運用も検討しましたが、個人的に使い慣れていたFacebookで情報発信を始めました。Facebookを通じてメッセージが送られてくることもあり、見ている人がいることを実感しています。
(布施さん)

広報紙を見ない人向けにSNSを使った情報発信の必要性は感じていました。幅広い年代の方に見てもらえたら嬉しいです。すぐに結果が出なくても、続けていくことが大切です。
(森岡会長)

ホームページ

有料
で使用可能
(一部無料有)



※イメージ

ホームページってどんなもの？

インターネット上の看板のような役割をもつ。
自治会町内会が発信した情報を蓄積できるため、
地域の歴史や、これまでのノウハウを引き継ぐ
ことができる。



こんな使い方ができます！

- 自治会町内会の回覧板・行事予定などを発信できる。
- 写真や動画を使って発信できる。
- 多くのデータを整理して記録できる。
- 活動ごとにページを作れる。
(役員会、子ども会など)



こんな効果があります！

- 自治会町内会活動が見える化できる。
- 利用者登録不要のため、誰でも検索して地域の情報を見つけることができる。
- 自治会町内会の情報を詳しくPRでき、転入者にも地域のことを知ってもらえる。
- 比較的自由にレイアウトを決められるため、情報を整理しやすい。

導入事例紹介

白幡上町自治会

基本情報

(令和5年7月現在)

世帯数：1050世帯

班数：51班

白幡上町自治会

詳しくはこちら



- ・以前は自治会広報紙を回覧していたが、内容まで詳しく見てくれない、行き渡るのに時間がかかるなどの課題があった。
- ・ホームページ委員会を立ち上げ、自治会の若い世代の方が運用に関わっている。
- ・災害時にも使えるアプリ(防災トーク)の活用も進めている。

地域からは自治会のホームページがほしいという声が上がっており、まずは自分で作ってみました。紙情報だけでは補えないイベント当日の情報や災害時にも活用できるのではと思っています。
(大西会長)

ホームページ作成にあたって、それぞれの得意なことで関わり、一人に負担がかからないようにしています。自治会内では、新しい人の意見を聞いてくれる雰囲気があります。(ホームページ委員会)

自治会町内会専用アプリ (結ネット)

有料
で使用可能

結ネットってどんなもの？

平常時は地域の電子回覧板や自治会町内会からの情報受発信ツールとして利用し、災害時には安否確認システムとして活用できるアプリ。



※イメージ

こんな使い方ができます！

- 災害時の安否確認がとれる。
- 自治会町内会の行事予定・中止決定などを配信できる。
- 写真・音声・動画を添付して配信できる。
- 登録者から役員に非公開で問い合わせできる。
- イベントや会議などの出欠確認やアンケートができる。(回答返信機能)

こんな効果があります！

- 災害時には、災害モードになり、登録者の安否状況を全員で共有できる。
- スマホを持たない要援護高齢者を登録して、担当者が駆けつけて安否情報代理入力ができる。
- メッセージ受信の通知が届くので、見落としが少ない。
- 回答返信機能で物事の解決(決定)が早くなる。

導入事例紹介

大口仲町池下町会

基本情報
(令和5年7月現在) | 世帯数：785世帯
班数：45班

詳しくはこちら



- ・これまでの情報伝達は、回覧板と掲示板しかなかったが、より迅速な伝達手段を手に入れた。
- ・平常時は子ども会の回覧や町会イベントの参加者募集などに活用。事務負担の軽減につながっている。
- ・災害時は「災害モード」に切り替わり、迅速に安否確認ができる。

導入後は、町会内の連絡がスムーズになり、物事の解決が早くなりました。災害時の使用も想定されたアプリなので、有事の際にも活躍することを期待しています。(石渡会長)

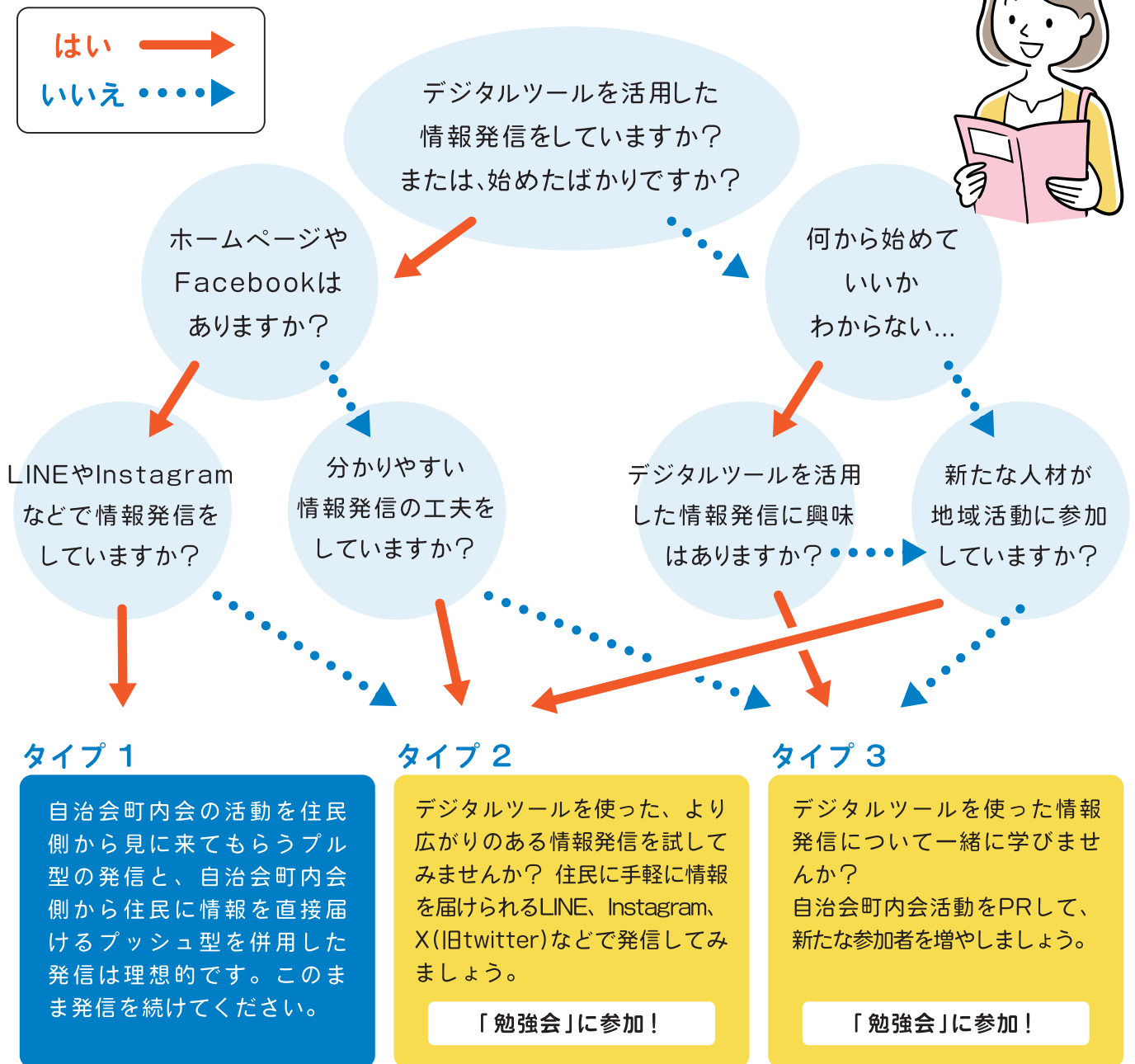
自治会町内会専用アプリなので有料ですが、開発元の思いが詰まった高機能なアプリです。町内の皆さんの反応を励みに、新しい未来に繋げていきたいと思えます。(岩並さん)

※「結ネット」アプリをカスタマイズした「まちにてい With ユイネット」を利用しています。

デジタルツールを活用した 情報発信の自己診断

地域の魅力
アップ!!

あなたの街の情報発信はどのタイプ？



勉強会 〈デジタルツールを活用した情報発信〉

令和6年3月(予定)

「興味関心はあるけどなかなか踏み出せない」「他の自治会町内会はどうしているのかな」など、このままでは不安だけど、どうしたらいいのかわからない自治会町内会の関係者の方々に受講していただきたい内容です。デジタルツールの基礎知識、すでに実践している自治会町内会の取組紹介、参加者同士の情報交換など、盛りだくさんのプログラムです。

★勉強会の開催については、令和6年1月の区連会でご案内します。



デジタルツール



比較早見表

ここでは各ツールの特徴を比較しています。

プッシュ型

情報を必要とする人へ
直接発信する

自治会町内会の情報



プル型

情報を必要とする人が
自ら情報を取りにくる

自治会町内会の情報



	プッシュ型 プル型	料金	見れる人	特徴
LINE (公式アカウント)	プッシュ型	無料 (配信上限有)	登録者のみ	メッセージ配信に向いている
Instagram	プッシュ型	無料	誰でも	画像や動画発信に向いている
X (旧Twitter)	プッシュ型	無料 (今後不明)	誰でも	リアルタイム発信に向いている
Facebook	プル型	無料	誰でも	近隣の人と繋がりやすい
ホームページ	プル型	有料 (一部無料有)	誰でも	自治会町内会活動を見る化できる
自治会町内会専用アプリ (結ネット)	プッシュ型	有料	登録者のみ	災害時の安否確認が取れる

自治会町内会の情報発信で大事なことは、地域で必要な情報を把握し、必要なときに必要なところへ伝わる工夫をしていくことです。地域活動の情報発信のやり方に正解はありませんが、それぞれの自治会町内会の特性や規模、状況に合わせた情報発信は地域の活性化につながります。

今回このガイドで紹介したデジタルツール以外にも、自治会町内会が活用できるアプリ(いちのいち、Yumicom、防災トークなど)や、携帯メールを使った連絡網の"マ・メール"などがあります。

若い世代を含む幅広い層へ自治会町内会の魅力を知ってもらうためにも、自治会町内会の状況に合わせたデジタルツールを活用した情報発信を、できることから試してみませんか。

〈発行〉

神奈川県役所区政推進課 地域力推進担当

電話:045-411-7026 / FAX:045-314-8890 / Eメール:kg-tiiki@city.yokohama.jp

(令和5年11月発行)